

平成26年度第1回会員四季交流会開催

7月23日(水)、山形市「霞城セントラル」において、平成26年度第1回会員四季交流会を開催し、組合役員、事務局等18名が出席した。

はじめに、本会齋藤豊副会長兼専務理事より挨拶の後、研修会に入り、「採択者はここを見る～補助金申請書作成における注意点～」と題して、講師の計画経営研究所所長三宅鴻志氏より「申請書は中期経営計画の一環として認識し、トレンドを組み込んだストーリーのある内容で記載することが大切である」とアドバイスがあった。

引き続き行われた業界動向等についての意見交換では、軽油や重油の燃料価格の高騰によるコスト高や賃金等の労働問題の意見が出席者から出た。



平成26年度官公需確保対策地方推進協議会開催

7月31日(木)山形市霞城セントラルにおいて、東北経済産業局主催による「平成26年度官公需確保対策地方推進協議会」が開催された。

協議会が官公需施策に関する意見交換の場として毎年開催されているもので、発注者側の関係官公庁並びに受注者側の官公需適格組合の担当者約30名が出席した。

はじめに、同局産業部中小企業課の幸坂隆憲課長補佐が「平成26年度中小企業者に関する国等の契約の方針」及び中小企業技術革新制度について説明した後、県商工労働観光部中小企業振興課の佐藤有美子主査から山形県の官公需施策について説明があった。続いて、山形県の官公需適格組合の活動状況について、本会及び山形県ビルメンテナンス協同組合宗片孝参事兼事務局長から官公需への取り組み状況を紹介、発注機関に対し可能な限り中小企業者に対する受注機会の増大を要請した。

なお、「平成26年度中小企業者に関する国等の契約の方針」は中小企業庁のホームページ(下記URL)に掲載されている。



(<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/2014/140627torihiki2.pdf>)